

# ふくよか

2015秋号

■長崎県病院企業団本部  
■平成27年10月発行

## 目次 CONTENTS

**p2..... 企業長より**

「ふくよか」の由来について

**p4..... 特集①「企業団議会」ってなんだろう？**

企業団議会についてご紹介します！

**p5..... 話題の職員紹介**

6月、「もくせい会」会長に就任しました  
～上五島病院 一宮邦訓先生～

**p6..... 特集② 第37回長崎県地域医療研究会**

今年も開催！ 研究会の様子を振り返ります

**p7..... 新人用テキストが完成しました！**

新採職員必携の「参考書」です

**p8..... Break Time**

[世界遺産めぐり～弾丸旅行～]

vol.  
05

病院企業団通信「ふくよか」誌名の由来

# 医療人としてふくよかな会話が できるようになろう！

企業長 米倉 正大



## 名前の所以<sup>ゆえん</sup>

広報誌も発刊から5回を数え、早くも1年になった。広報誌の名前が「ふくよか」という所以について、企業長はふくよかな女性が好きなのでは？というような冗談めいたことを聞いたので、今回はこのことについて触れてみたい。

確かに「ふくよか」という言葉は、辞書で調べると、一般的にはふつくらとした女性に使うと書いてある。実は、広報誌の名前は「ふくよか」が正しいのではないかと言い出したのは、編

集長の川良副企業長である。私が『医療人としてふくよかな会話ができるようになろう！』と呼びかけたのが、病院企業団の中では始まりである。

## 卒業生に贈った言葉

私は病院企業団に来る前、長崎医療センター院長と併任して附属看護学校の校長を10年間務めた。毎年、新入生を迎え入れ、また卒業生を送り出した。彼らがこれから社会人として、また看護師として巣立っていく時に贈った言葉の中で『たとえ立ち話の短い時

間でもふくよかな会話ができる人になってください』ということをお願いしてきた。看護師として忙しく働く中で、短い時間でも患者さんやその家族と会話を持つてほしいと願ったからである。これが、私がふくよかな会話ということを言い始めた所以である。

## 患者さんに寄り添った会話を

「ふくよか」という意味を一言で表現するのは難しいが、ふくよかな香りとか味、ふくよかな人柄という時にも使われる。ふくよかな会話というの

は、穏やかで、相手を思いやる豊かな内容を持つということになるのか。

患者さんへの声掛けは、短時間であればあるほど、つい病状だけの会話になってしまいがちであるが、ふくよかな会話は相手に安心感と信頼感を持たせる。患者さんの置かれた環境や家族構成、趣味、興味を持ちそうな世の中の出来事などを事前に把握し、医療人として患者さんに寄り添った会話が自然と出てくるような能力を付けてほしいと願う。

このような能力は、学問をたくさんしたからといってできるものではない。持って生まれた能力を備えている人もいると思うが、それは一部の人に限られる。多くの人は、普段の勉強と同じように日頃の努力が必要であろう。話すのは苦手だからといってあきらめることなく、ふくよかな会話ができるように努力してほしい。

### 医療人の重要なスキル

昨今話題になってきている医療事故訴訟に関しても、医療人と患者及び患者家族との意思疎通が大きな要因とも聞く。お互いの意思の違いをなくすためには、普段からのふくよかな会話が大きな役割を果たしてくれると思われる。ふくよかな会話ができるといえる能力は、医療の知識やスキルを習得するのと同じくらい重要なことであると認識すべきである。

### 私自身の課題

私自身、若い頃からウィットやジョークに欠け、接する人に安心感を与えてきたかという点、この歳になっても自信がない。どのようにすれば克服できるのか、いまでも悩み続けているが、ふくよかな会話ができるようにするというのは、実は私自身の課題でもある。

## ～ 第14回全国病院事業管理者・事務責任者会議が開催されました ～



8月27日・28日の2日間、約170名の出席のもと、北海道小樽市で開催されました。

全国病院事業管理者協議会の会員が出席する当会議は、**来年度は8月25日・26日の日程で長崎市において開催されます。**

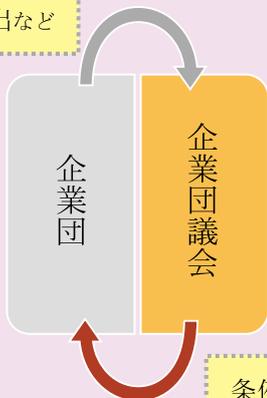
長崎県病院企業団が主催者となりますので、皆様のご協力よろしくお願いいたします。



# 「病院企業団議会」ってなんだろう？

みなさんは長崎県病院企業団に議会があることをご存じですか？  
今回は企業団議会についてご紹介します。

条例・予算・決算  
の提出など



条例・予算の議決  
決算の認定など

## POINT

企業団と企業団議会は、お互いの立場を尊重し、議論を交わしながら、協力して県民の健康な生活を確保するために活動しています。

## 教えて！

## 企業団議会に関する Q&A

**Q 企業団議会とは何だろうか？**

**A** 企業団議会とは、企業団議員が集まって、企業団のルール（条例）やお金の使い方（予算）等について審議し、決定をするところです。企業団は議会で決められたことに基づいて仕事を行います。また、議会は企業団のお金が正しく使われているか、正しく仕事がなされているかチェックをします。

**Q 議会はいつ開催されるの？**

**A** 議会は毎年12月、3月に開かれる定例会と、必要があれば開かれる臨時会があります。本年は、補正予算の審議などを行うため、8月臨時会が開催されました。

**Q 議員にはどんな人がなるの？**

**A** 企業団議員は、企業団の構成団体（長崎県、島原市、南島原市、雲仙市、五島市、新上五島町、対馬市、壱岐市）の各議会から選挙された議員13名と長崎県職員3名の合計16名で構成されています。

内訳	人数
長崎県議会	2名
島原市	1名
南島原市	1名
雲仙市	1名
五島市	2名
新上五島町	2名
対馬市	2名
壱岐市	2名
長崎県職員	3名
合計	16名

## 平成27年8月臨時会の様子



▲答弁を行う米倉企業長



▲議長は議員から選挙され、議事の進行を行います



▲議場の様子

精神医療センターにて  
議員研修が行われました

8月に行われた臨時会に先立ち、精神医療の実態を把握する目的で、精神医療センターにて議員研修が行われました。研修では、センターの概要などの説明が行われた後、院内の視察が実施されました。

視察は、医療観察法病棟を中心に行われましたが、精神医療の現場の雰囲気を感じられ、議会とは違った形の勉強会として、とても有意義なものになりました。



## 話題の職員紹介

Vol.5

今回は、長崎県離島医療医師の会（もくせい会）の会長に就任された上五島病院の一宮 邦訓（いちのみや くにのり）先生をご紹介します。



このたび6月より、長崎県離島医療医師の会（もくせい会）の会長を務めさせていただくこととなりました長崎県上五島病院整形外科・医療情報部長の一宮邦訓と申します。

生まれは対馬の厳原町で、その後島原・諫早で幼少期を過ごし、中学時代は対馬、高校は長崎市で下宿生活をしていました。

2001年に自治医科大学を卒業後、長崎医療センターでの初期研修と長崎大学病院での1年間の再研修を除き、ずっと上五島で勤務しており、足掛け11年が過ぎました。

この間、上五島では電子カルテ導入や病院の増築、有川医療センター・奈良尾医療センター開設を含めた医療再編など、さまざまなことがありました。

もともと対馬出身であることもあり、離島という地理的には不利な環境でも他に負けない医療レベルを目指し、日々臨床に携わってきました。無我夢中で診療にあたっているうちに、あっという間に日々が過ぎ去ったような気がします。

これまでは臨床一筋という感じでわがままに仕事をしてきたわけですが、地域医療に身を置いていて感じることは、やはり医師不足であることです。単に人手が足りないだけではなく、経験・専門性など「質」という視点からも自分自身を含め、不足を感じることがあります。

医療全体が専門性重視に傾くなか、2017年に専門医制度が変わります。それに向けて研修制度が見直され、連携研修施設として大学などとの関係も今までは変わっていくはずでした。

また専門性を重視しながらも「総合診療専門医」という一見矛盾したような制度も始まる予定です。地域では「若手も含めうまく人を配置しつつ、医療レベルを下げることなく研鑽に励む」という、なかなか困難な状況が予想されます。

「もくせい会」という伝統ある団体の長として皆をまとめつつ、長崎県全体の地域医療に貢献していきたいと強く思っています。まだまだ若輩で勉強の足りない部分も多いですが、これからよろしくお願ひします。



### 長崎県離島医療医師の会（もくせい会）

長崎県離島医療医師の会（もくせい会）は、長崎県医学修学資金貸与制度および自治医科大学制度により医師免許を取得し、長崎県の離島・へき地医療に従事している医師の団体です。

昭和54年に『もくせい会』として設立され、平成6年に『長崎県離島医療医師の会（もくせい会）』と改称され現在に至っています。長崎県の離島・へき地において、住民のニーズにあった地域医療を展開するとともに、離島およびへき地医療の向上・発展に貢献することを目的としています。



# 第37回 長崎県地域医療研究会

長崎ブリックホール（長崎市）において、今年も「長崎県地域医療研究会」が開催されました。昭和54年、企業団の前身である旧長崎県離島医療圏組合の時代に「第1回離島医療研究会」として開催されて以降、実に37回目の開催となります。今年度のテーマは『地域で「いのち」を支えるために』。NPO法人ジャパンハート 吉岡秀人代表による特別講演や、業務改善の表彰なども企画され、充実した内容となった本会の模様をお伝えします！

## ..... 1日目 10月3日(土) .....



⑥午前中、舞台設営は職員総出で行います。  
⑦正午すぎから受付開始です。



1日目のシンポジウムのテーマは「**どうする？20年後の離島周産期医療**」。  
20年後には分べん数の大きな減少が予測されており、収支のバランスを考慮すると、体制の維持は危機的な状況にあります。  
医師・助産師それぞれの視点から、問題提起や、将来を見据えた提案がありました。

### ▼上五島病院 八坂院長の挨拶でスタート



業務改善活動で最優秀賞を獲得された島原病院の林先生に、企業長から表彰状が手渡されました。

### ジャパンハート吉岡代表 特別講演



現地政府の理解も、上質な薬品や医療機器も満足に得られない環境で、東南アジアの子どもたちの人生をよりよいものにしようと奮闘されている「ジャパンハート」の皆さん。  
そのボランティア看護師さんが、上五島病院や対馬病院で研修を受け、東南アジアへ旅立っておられます。  
「**離島の皆さんに教えてもらったことが、東南アジアの子どもたちに還元されているんです**」という吉岡代表の言葉が印象的でした。

## ..... 2日目 10月4日(日) .....



2日目のシンポジウムは、「**長崎県の離島・半島地域における地域包括ケアシステムの現状と展望**」がテーマでした。

「**看取り**」を軸に、自治体や地域住民との連携など、終わりゆく「いのち」へのかかわり方について、地域や職種を超えた幅広い意見が交わされました。



▲対馬病院 川上院長による閉会挨拶

- ◆研究会の発表集は、企業団ホームページに掲載されます。
- ◆次回は平成28年10月8日・9日開催予定です。

ご参加の皆さん、大変お疲れ様でした！  
次回も実りある研究会となるよう、お力添えをお願いします。



本部からのお知らせ

# よくわかる新人用テキスト



# 完成しました!

今年度の新規採用職員研修については「ふくよか2015夏号」で紹介したとおりですが、一か所に集まって実施する研修は、それまで遠かった各病院職員の皆さんの距離を一気に縮め、企業団の一体感醸成に大きく寄与するものだと考えています。

一方、「研修会場に集まっての研修だけではなく、自分で時間を工面して自主学習できる、適当なテキストはないの??」というお尋ねもいただいていたところです。

図書館に行ってふさわしい本はないかと探してみましたが、内容（難しすぎない）・ボリューム（多すぎない）のいずれも満足できる、教材として適当な本はなかなか見つかりません。「それならどうしようか?」と考えるうちに、又吉直樹さんに刺激されたわけではありませんが、「いっそのこと自分たちで作ったらどうか」との考えに至りました。

本部職員で分担してできあがった「新人用テキスト」は、次の3つで構成されています。



カズくん



内容は「新規採用者の皆さんに知っておいていただきたいこと」を基準として作成していますが、「**基本的な内容をおさらいしたい**」との気持ちのある方も、企業団のグループウェアにアップしていますので、是非ご覧ください!

また、このテキストは版を重ね、その時々の方針に合わせて、内容をよりわかりやすくしていきたいと考えていますので、項目だてや記述内容について、批判やご意見をいただければ大変ありがたいと思います。



## ● Break Time : 「世界遺産めぐり～弾丸旅行～」

天高く、馬肥ゆる秋。旅行の季節です。長崎県を中心に「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されたこともありますし、今回は世界遺産めぐりの旅をご案内しましょう。ただし、体力勝負の弾丸旅行です。

起点は長崎市、車を使います。お金の節約になるし、わいわい楽しめるので、一人旅より3～4人のグループがおすすめです。

### 【1日目】

朝早く出発。ちょっと長い510km、休憩や昼食を入れて、約7時間で島根県にある石見銀山に到着です。江戸時代、世界最大の銀の産出量を誇っていたそうです。資料館や間歩（坑道のこと）、風情のあるまちなか散策で夕方になります。泊まりはやっぱり温泉でしょう！16kmほど西に戻って、海沿いの温泉津へ。ゆったり温泉に入った後は地酒で海の幸を楽しみましょう。

### 【2日目】

今日も朝は早い。車窓から日本海を眺めながら、松江を経由して姫路城へ。300km、昼ごろ到着。昨年度、改修工事が終わったばかりです。それこそ白鷺のような、江戸時代の完成当初と同じ風情を楽しめます。ボランティアガイドの案内で城内見学。城を堪能したら、240km、3時間ちょっとで広島へ。泊まりはビジネスホテルにしましょう。少し遅めの夕食は広島名物お好み焼き。ビールが何杯でもいけます。

### 【3日目】

旅の疲れも出てくるころ、朝は少しゆったりいきましょう。朝食後、散歩がてら原爆ドームへ。公園をまわり、被爆した方々への慰霊が終わったら一旦ホテルに戻り、20km先の厳島神社へ。フェリーで宮島にわたり、鹿の出迎えを受けながら進みます。海の青さと社殿の朱色のコントラストをじっくり眺めましょう。

帰り、途中で土産にもみじまんじゅうを買って駐車場に戻り、一路400km、夕方長崎に到着。

2泊3日、総走行距離1,500km。クルマの運転はちょっと疲れるけど、適当に交代していけば大丈夫。4つの世界遺産を味わう旅、挑戦してみませんか？

（文：副企業長 川良数行）

## 編集後記



「ふくよか」も今号で1周年！ 企業長からは「ふくよか」の由来にまつわる記事が寄せられました。個人的には、この言葉に対して「ふっくら」「ふんわり」といった、やさしく大らかで安心感のあるイメージを抱いています。人と接する際は、ふくよかな言動を心がけたい。しかし肉体までふくよかになってしまっ

ては…ということで、スポーツの秋にあやかり、軽い運動を習慣づけたいところです。手始めに、市内で開催される「ベイサイドウォーク」に参加しようと思っています。この秋、筋肉痛との戦いが始まります。

（ふくよか編集担当）

ふくよか

表紙のはなし 吉岡 秀人 先生

10月3日 長崎県地域医療研究会における特別講演の様子。発展途上国の小児患者の幸せを第一に考えるひたむきな姿に、聴衆の皆さんも聞き入っている様子でした。

平成27年10月発行

編集・発行／長崎県病院企業団本部

〒850-0033 長崎市万才町4-12 日本生命ビル旧館6階

TEL.095-825-2255 FAX.095-828-4759

E-mail : honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp

URL : <http://www.nagasaki-hosp-agency.or.jp/>



長崎県病院企業団

検索